

## 株式会社川本第一製作所

ながい よしかず  
永井 良和 氏（総務部 主任）



### （アート雇用を始めるきっかけ）

磯崎亮さんの絵に魅力を感じ、社会貢献度の高い会社を目指す弊社として、亮さんを応援したいと思い、雇用しました。

### （就労者との関係）

亮さんは、普段は在宅勤務をしていますが、3か月に1度、お母さんと一緒に会社に出社してもらい、3人で面談をしています。亮さんが描く絵は、その時に描きたいもので、動物の絵が多いですが、たまに電車や車の絵を描いてきてくれて、面談の際に見せてくれます。

### （作品の活用について）

2024年度の会社カレンダーの絵は、来年が辰年のため、会社から「辰の絵を描いてください。」と初めて亮さんにリクエストして描いてもらった絵です。

### （今後の取組予定）

亮さんの絵は、すごくポップでいるんなところに使いやすい絵だと思うので、今後、グッズを作ってみたいと思っています。また、機会があれば、社内に亮さんの絵をもっと飾りたいと考えています。

いそぎき りょう  
磯崎 亮の作品制作

1993年生

2016年6月採用

「あいちアール・ブリュット展」へは第1回目より出展。毎年の出展や「あいちアール・ブリュット展」への入選がきっかけとなり、株式会社川本第一製作所へ就職。幼い頃より動物の絵を描くことが好きで、今も動物の絵を描いている。絵を描くことが大好きである。

2015年・2016年「あいちアール・ブリュット展」優秀作品

### （制作風景）

いつも、福祉サービス施設から帰宅後、リビングでクレパスなどを使って、汗をかきながら大好きな絵を描いています。同時に数枚の絵を描き進め、色を塗っては別の絵を手にとって塗りと、夕食の時間も忘れてもくもくと描くことも…。描く絵は、大好きな動物や戦隊モノなどのキャラクター！



## アイアール株式会社

おおやま りゅうご  
**大山 竜吾 氏**（代表取締役）



### （アート雇用を始めるきっかけ）

当社が行う建設会社向けの人材派遣業では、社員は会社に所属して、現場を変えながらステップアップしていきます。当社のビジネスそのものが、働く場所を探している方を後押しするものです。障害を抱えているけれど働きたい、アート活動を続けたいという方を支援するアート雇用は、当社のビジネスそのものと親和性が高いと考えて始めました。

### （就労者との関係）

私たちはアーティストの活動を支援するサポーターのつもりで接しています。できるだけ多くの方が作家とその作品と触れ合えるよう、会議室に飾ったり、社内チャットのスタンプとして使用したり、社員が持ち回りで作品の感想をお伝えしたりしています。

### （今後の展望）

障害のある人もそうでない人も、得意・不得意なところに違いがあるだけで変わらないとっていて、将来的には障害者アートではない文脈でアーティストの皆さんの活動を発信するつもりです。まだ企画段階ですが、1200人以上の社員がいるため、共通で持てるものを作りたいとずっと考えていて、作品を活かすことができると考えています。

つじ たいよう いざわ こうすけ  
**辻 泰羊、井澤 康介の作品制作**

### 辻 泰羊

1995年生 2022年12月採用  
 小学生の頃から手先が器用で、粘土で怪獣を制作。休憩時間にいつも眺めている大好きな恐竜図鑑から選ばれる作品が多い。絵画だけでなく、絵で描く生物をそのまま陶土でも表現し、粘土の固まりから鉛細工のように手や足、尻尾を器用に伸ばし丁寧に成形していく。恐竜やタツノオトシゴなど完成した作品はかわいらしい作品が多く見られる。2015年・2016年「あいちアール・ブリュット展」優秀作品

### （制作風景）

社会福祉法人あいち清光会銀河において、週に一度美術活動として絵画制作を、造形活動として、週に二度作陶などの立体制作を行っています。絵画も好きですが、特に作陶が大好きです。制作するモチーフは自分で決めており、絵画についてはアクリル絵の具を使用して中生代の恐竜を、造形活動では恐竜に加え、ウルトラマンと戦っている怪獣を制作することが多いです。



### 井澤 康介

1987年生 2022年12月採用  
 マンガやキャラクターが好きで、自由時間には楽しそうに描いている。ポップでカラフルな作品が多い。

### （制作風景）

社会福祉法人あいち清光会銀河において、毎週月曜日に美術活動として絵画制作を、毎週木曜日に造形活動として陶芸などの立体制作を行っています。美術活動の際には模写をしていますが、いつもポスカを使用しており、大きな紙面に細い筆先で色ムラが出ないようにとても丁寧に塗っています。ゴジラやポケモンが大好きで、造形活動の時間には主にゴジラ系を制作し、美術活動以外の時間には、大好きなポケモンを合間を見つけては描き、自宅でもポケモン図鑑を見ては描き進めています。





あいち  
アール・ブリュット

×  一般社団法人  
アティックアート

一般社団法人アティックアートは、障害のある方が創作した、独自の世界観と絶妙な色彩で彩られた絵画・版画などの作品を公開することにより、世間に埋もれていた才能のある方が社会参加できるよう支援することを目的に、2011年に豊田市で活動を開始しました。

特別支援学校や福祉施設から作品を募集し、現金封筒へのデザインを皮切りに、障害のある方の作品を原画とし、企業のノベルティグッズのデザインとして世に送り出すことで、その才能に光をあて、障害がありながらも自立を目指すアーティストを応援する活動を行っています。

2016年度、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」での連携作品展の開催を契機とし、2017年度より「あいちアール・ブリュット × アティックアート連携事業」として、「あいちアール・ブリュット展」出展作品からのノベルティグッズ制作を開始しています。

採用された作者の方へは、今後の作品制作の励みになるよう、愛知県知事、採用企業代表、アティックアート代表より、作品採用に係る謝礼や記念品等を贈呈する「アティックアート贈呈式」を開催しています。

2018年度からは、障害のある方のアート活動を応援する企業や団体が、私たちの身近にあるということを知っていただくとともに、作品から溢れる個性や魅力を感じていただくことで、障害への理解の深まり、ひいては障害のある方の社会参加の促進に繋げていくため、これまでの採用作品や制作されたノベルティグッズを県内の企業や協力団体の社屋等で展示する「まちなかギャラリー」を開催しています。

このように、芸術活動を通して障害のある方の自立と社会参加を支援する取組は、県内の企業にも広がりつつあります。

## まちなかギャラリー



株式会社須藤事務所



岡崎信用金庫



株式会社近藤組



太啓建設株式会社



株式会社花田工務店



関興業株式会社



有限会社グローバルホーム



株式会社大増コンサルタンツ



小原建設株式会社



ヤハギ道路株式会社

参加企業等・ノベルティグッズ制作例 (2022年度)

 <p>手提げ袋      ボックスティッシュ</p> <p> 愛知県信用保証協会</p>	 <p>冊子</p> <p> 一般社団法人愛知県測量設計業協会</p>	
 <p>アルコール除菌スプレー      メモ帳      クリアファイル      ペン立てCANティッシュ</p> <p> 岡崎信用金庫</p>		
 <p>ポストカード      タオル</p> <p> 小原建設株式会社</p>	 <p>ポストカード      タオル</p> <p> 関興業株式会社</p>	
 <p>ビニール袋      ビニール袋2      ポストカード      眼鏡拭き</p> <p> 角文株式会社</p>		
 <p>ワリフ手提げバッグ</p> <p> かりや愛知中央生活協同組合</p>	 <p>観覧車</p> <p> 木村建設株式会社</p>	 <p>紙袋</p> <p> 株式会社近藤組</p>

参加企業等・ノベルティグッズ制作例 (2022年度)

 <p>マグネット</p> <p>JINNO 神野建設株式会社</p>	 <p>うちわ</p>  <p>クリアファイル</p>  <p>クリアファイル 2</p> <p>TAIKEI 太啓建設株式会社</p>		
 <p>ノート</p> <p>トヨタホーム株式会社</p>	 <p>ウェットティッシュ</p> <p>NEXCO 中日本ハイウェイ・メンテナンス 名古屋株式会社</p>	 <p>ウェットティッシュ</p> <p>株式会社まつおか</p>	
 <p>角 2 封筒</p>  <p>メモ帳</p>  <p>クリアファイル</p>  <p>手提げ紙袋</p> <p>日本空調システム株式会社</p>			
 <p>角 2 封筒</p>  <p>ウェットティッシュ</p> <p>Nett ネットトヨタ中部株式会社</p>		 <p>飯囲いパネル</p>  <p>ウェットティッシュ</p> <p>株式会社花田工務店</p>	
 <p>角 2 封筒</p>  <p>ボックスティッシュ</p> <p>碧海信用金庫</p>		 <p>ショップカード</p>  <p>エコバッグ</p> <p>ヤハギ道路株式会社</p>	

2014年度から、芸術大学の教員等が障害者支援施設等に出向き、絵画、陶芸、書道、オブジェなどの芸術活動の講座を行う「出前講座」を実施しています。2021年度からは、絵画等の創作活動に加え、愛知県立芸術大学による「出前コンサート」を実施し、2022年度までに、「出前講座」「出前コンサート」あわせて49施設が参加しました。

この「出前講座」は、芸術活動の専門的な指導を行うことが主たる目的ではありません。参加した皆さんが、芸術活動に触れる機会を通じて、新たな才能を発見したり、生きがいに繋がったりすることを期待するとともに、支援する職員の方たちにとっても、今後の施設での芸術活動を行うための指導やサポートの学びとなることも目的として実施しています。

実際に参加した皆さんには、絵画や陶芸などの創作を通して、作品を制作する楽しさや、作品が完成した時の達成感など、芸術の専門家と一緒に、芸術の楽しさを体験していただいています。

また、出前講座で制作した作品は、「あいちアール・ブリュット優秀作品特別展」や「あいちアール・ブリュット・サテライト展」などにおいて展示しています。

絵画

社会福祉法人くるみの里福祉会 くるみの里

講師：<sup>おおたけ</sup>大竹 <sup>まちは</sup>真千英



陶芸

社会福祉法人大府福祉会 あけび苑

講師：<sup>にしむら</sup>西村 <sup>しま</sup>志磨



書道

特定非営利活動法人いきもの語り

講師：<sup>とみなが</sup>富永 <sup>よしひで</sup>佳秀



オブジェ

特定非営利活動法人幸せつむぎ and にこり 日進

講師：<sup>あさだ</sup>浅田 <sup>やすこ</sup>泰子  
<sup>すぎやま</sup>杉山 <sup>けんじ</sup>健司



出前  
コンサート

社会福祉法人福田会 障害者支援施設ゆたか苑  
社会福祉法人名古屋ライトハウス 戸田川グリーンヴィレッジ

演奏：愛知県立芸術大学



## 出前講座実施施設一覧

	法人名・施設名	講師	実施講座
2014年度	社会福祉法人清新会 森孝しぜんかん	源 安孝	絵画
	社会福祉法人愛知県厚生事業団 愛厚半田の里	渡辺 英司	絵画
	社会福祉法人明知会 夢の家	佐藤 文子	陶芸
	社会福祉法人歩々の会 ピカリコ	長谷川 哲	写真
	社会福祉法人双樹会 自由の杜	社本 善幸	絵画
2015年度	社会福祉法人昭徳会 泰山寮	浅田 泰子	絵画
	医療法人香流会 紘仁病院	源 安孝	絵画
	社会福祉法人名古屋ライトハウス 戸田川グリーンヴィレッジ	小栗 沙弥子・山下 幸司	オブジェ
	社会福祉法人よつ葉の会 よつ葉の家	鈴木 敏春	絵画
	社会福祉法人くわの実福祉会 まゆ	佐藤 文子	陶芸
2016年度	名古屋市 あげぼの学園	佐藤 文子	陶芸
	医療福祉法人静心会 藤田こころのケアセンター	三上 政美	陶芸
	社会福祉法人昭徳会 小原寮	佐藤 文子	陶芸
	名古屋市 総合リハビリテーションセンター	三上 政美	陶芸
	社会福祉法人双樹会 ワークショップ杜	三上 政美	陶芸
2017年度	社会福祉法人恩賜財団 愛知県同胞援護会 春日苑	佐藤 文子	陶芸
	社会福祉法人双樹会 自由の杜	佐藤 文子	陶芸
	刈谷市障害者支援センター 結	浅田 泰子	オブジェ
	社会福祉法人相和福祉会 ひがしうらの家	加藤 慶・加藤 麻子	絵画
	社会福祉法人さわらび会 珠藻荘	富永 奇昂	書道
2018年度	社会福祉法人愛光園 愛光園	浅田 泰子・山下 幸司	オブジェ
	社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会 サンホーム豊田	鈴木 敏春・武谷 直子	絵画
	社会福祉法人ぶなの木福祉会 陽なた	佐藤 文子	陶芸
	社会福祉法人西春日井福祉会 尾張中部福祉の杜	加藤 慶・加藤 麻子	絵画
	社会福祉法人あさみどりの会 べにしだの家	鈴木 敏春・武谷 直子	絵画
2019年度	社会福祉法人恩賜財団 愛知県同胞援護会 春日苑	富永 佳秀	書道
	特定医療法人楠会 楠メンタルホスピタル	佐藤 文子	陶芸
	医療法人和合会 好生館病院	浅田 泰子	オブジェ
	社会福祉法人ひまわり福祉会 杜の家	加藤 慶・加藤 麻子	絵画
	布袋病院 デイケア風	佐藤 文子	陶芸
2020年度	社会福祉法人相和福祉会 パスピ・98	杉山 健司 浅田 泰子	オブジェ
	社会福祉法人名古屋ライトハウス 戸田川グリーンヴィレッジ	源 安孝	絵画
	社会福祉法人ひまわり福祉会 杜の家	佐藤 文子	陶芸
	社会福祉法人あさみどりの会 べにしだの家	浅田 泰子・杉山 健司	オブジェ
	社会福祉法人恩賜財団 愛知県同胞援護会 サンホーム豊田	加藤 慶・加藤 麻子	絵画
2021年度	社会福祉法人コスモス福祉会 あすか	大竹 真千英	絵画
	社会福祉法人大府福祉会 あげび苑	西村 志磨	陶芸
	社会福祉法人くるみの里福祉会 くるみの里	大竹 真千英	絵画
	特定非営利活動法人いきもの語り	富永 佳秀	書道
	社会福祉法人としなが福祉会 障害者支援施設ホテルの郷	佐藤 文子	陶芸
2022年度	特定非営利活動法人幸せつむぎ and にこり 日進	浅田 泰子・杉山 健司	オブジェ

## 出前コンサート実施施設一覧

## 2021年度

法人名・施設名
社会福祉法人よつ葉の会 よつ葉の家
社会福祉法人愛燦会 障がい者センターあいさんハウス
認定特定非営利活動法人ポパイ スイーパー
認定特定非営利活動法人ポパイ オリーブ

## 2022年度

法人名・施設名
社会福祉法人福田会 障害者支援施設ゆたか苑
社会福祉法人愛光園 まどか
社会福祉法人愛知県厚生事業団 愛厚すぎのきの里
社会福祉法人名古屋ライトハウス 戸田川グリーンヴィレッジ



Do it !!

障害の有無を超えたパフォー  
マターによる全国大会



愛知県障害者芸術文化活動普及支援事業

障害者芸術文化活動普及支援事業は、障害のある方が芸術文化を享受し、多様な活動を行うことができるよう、地域における障害者の芸術文化活動を支援する体制を全国に普及し、障害のある方の自立と社会参加を促進することを目的とする事業です。

愛知県においては、2017年度から県内の団体が「愛知県障害者芸術文化活動支援センター」として事業を実施しています。

愛知県では、あいちアール・ブリュット展や出前講座の開催により、障害のある方の芸術文化活動の発表や創作の場を設けてきましたが、障害者芸術文化の一層の推進のためには、障害のある方の創作・表現活動をサポートする施設職員等への支援やその育成も必要不可欠です。「愛知県障害者芸術文化活動支援センター」では、その支援拠点となるセンターとして、相談支援や人材育成、情報発信等、障害者の芸術文化活動に携わる施設職員等への支援を行っています。

■ 事業実施団体

2017年度～2021年度 特定非営利活動法人楽笑[らくしょう] (団体名は当時のもの)

2022年度 特定非営利活動法人愛知アート・コレクティブ



アール・ブリュット舞台



創作演舞や既成概念にとらわれないパフォーマンスなど、障害のある方の舞台発表





## ■ 事業内容

### 【相談支援】

創作や発表など、障害のある方の芸術文化活動に関するあらゆる悩みを、障害のある方やそのご家族、介助者等、さまざまな方から相談を受け付けています。

### 【芸術文化活動を支援する人材育成等】

芸術文化活動の支援方法や、芸術作品の著作権についての研修を行うなど、障害のある方の芸術文化活動を推進する人材を育成しています。



### 【ネットワークづくり】

障害者の芸術文化活動を支える人材が、分野や領域を超えて連携・協力できるよう、障害のある方やその家族、福祉や芸術等の専門家、事業所職員、行政職員等のネットワークを構築しています。

### 【発表の機会の確保】

地域における障害者の活躍の場を拡げ、多様な人々との交流が促進されるよう、専門家等と連携を図り、発表、創造、鑑賞等、様々な方法で芸術文化に参加する機会を創出しています。



### 【情報収集・発信】

ホームページやチラシにより、展示や公演などのイベント情報や、公募型の展覧会など、障害のある方の芸術文化活動に関する情報及びセンターについて情報発信しています。



## あいちアール・ブリュットの軌跡（年表）

- 1928(昭3) 知的障害児施設「八幡学園」が千葉県東葛飾郡(現 千葉縣市川市)に創設され、図工の時間が導入される。
- 1938(昭13) 早稲田大学大隈講堂で「特異児童作品展」が開催される。
- 1946(昭21) 「近江学園」が滋賀県大津市(のちに、湖南市に移転)に創設される(1948年に、県立の児童福祉施設となる)。
- 1949(昭24) フランス・パリで、アール・ブリュット協会により「アール・ブリュット展」が開催され、〈アール・ブリュット〉の語が一般に広く知られる最初の機会となる。
- 1952(昭27) 県内で初めての特殊学級、名古屋市立菊井中学校開設。川崎昂が赴任。
- 1954(昭29) 朝日新聞が山下清の捜索記事を全国配信。以降、山下ブームとなる。
- 1955(昭30) 前衛陶芸家の八木一夫が、滋賀県立近江学園で作陶の指導を開始する。
- 1956(昭31) 東京八重洲の大丸百貨店にて、山下清作品展が開催される。
- 1965(昭40) 山本良比古の初の個展が丸栄(名古屋市)で開催される。以降、国内外で多数個展が開催される。
- 1970(昭45) 川崎昂が、社会福祉法人ひかり学園を犬山市に設立する。
- 1986(昭61) 藤花荘(岡崎市)に、工芸班が設置される。安藤昇、森慎吾らが所属。
- 1995(平7) エイブル・アート・ムーブメントが提唱され、運動がはじまる。
- 1999(平11) 愛知県で初の障害のある人の作品を対象とする公募展「生(いのち)の芸術フロール展」が松坂屋(名古屋市)で開催される。以降、2008年まで毎年開催される。
- 2004(平16) 滋賀県近江八幡市に「ボードレス・アートギャラリー NO-MA」(現ボードレス・アートミュージアム NO-MA)が開館する。
- 2007(平19) 「第1回 ふれあいアート展」(主催：一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会)が電気文化会館(名古屋市)で開催される。以降、毎年開催。
- 2008(平20) スイス・ローザンヌのアール・ブリュット・コレクションにて「Japon」展が開催される。
- 2009(平21) 「境界なきアート展」が、豊川市桜ヶ丘ミュージアムで開催される。
- 2014(平26) 「ボードレス・アート・コレクション」が、高浜市やきものの里かわら美術館で開催される。
- 2014(平26) 「あいちアール・ブリュット展」(主催：愛知県)を開催。以降、毎年開催。
- 2016(平28) 「あいちアール・ブリュット展」を機に、2人が一般企業に「絵を描くこと」を仕事として就職する。
- 2016(平28) 第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会を開催。紹介作家として、水上卓哉、奈良朋紀、小寺良和、助川実など39名の作品を展示。
- 2017(平29) フランス・ナントで、ジャパン×ナントプロジェクト日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展が開催される。愛知県からも、辻勇二はじめ3名が出展。
- 2019(令1) 高浜市やきものの里かわら美術館で「山本良比古企画展」が開催される。
- 2020(令2) 豊川市桜ヶ丘ミュージアムで「あいちアール・ブリュット・サテライト展」を開催。以降、毎年開催。
- 2021(令3) 愛知県陶磁美術館(瀬戸市)で「あいちアール・ブリュット・サテライト展マテリアル」を開催。
- 2022(令4) 愛知芸術文化センター(名古屋市)で「あいちアール・ブリュット・サテライト展 ～国際芸術祭連携企画展～」を開催。升山和明、小寺良和など54名の作品を展示。
- 2023(令5) あいちアール・ブリュット展10周年記念事業(10周年記念式典・公演、作品展「10周年記念美術館」等)を実施



山本良比古 制作風景



安藤昇「ライオン」2013年

## 愛知県障害者芸術活動参加促進事業実行委員会 (2023年度)

### 会長

佐藤 孝(愛知県福祉局福祉部障害福祉課長)

### 副会長

川崎 純夫(一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会理事長/一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会理事長)

### 委員

内村 紀子(愛知県知的障害者育成会会長)  
岡田 ひろみ(特定非営利活動法人愛知県自閉症協会・つぼみの会副理事長)  
荻野 義昭(愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会会長)  
加賀 時男(一般社団法人愛知県身体障害者福祉団体連合会会長)  
佐藤 嘉彦(社会福祉法人愛知県社会福祉協議会事務局長)  
廣田 容子(特定非営利活動法人愛知県精神障害者家族会連合会理事)  
中山 正道(一般社団法人愛知県精神科病院協会事務局長)

## あいちアール・ブリュット展 開催関係者

### コーディネーター

鈴木 敏春(美術批評/特定非営利活動法人愛知アート・コレクティブ代表理事)

### 運営・展示企画

一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会、認定特定非営利活動法人ポパイ

### 優秀作品審査員(職名等は当時のもの)

今泉 岳大(岡崎市美術博物館学芸員) 2014～2023年度  
垣尾 良平(元社会福祉法人中日新聞社会事業団常務理事) 2022～2023年度  
河合 健太郎(愛知県立港特別支援学校教員) 2018～2022年度  
川口 弘(社会福祉法人としなが福祉会障害者支援施設ホテルの郷統括施設長・一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会理事長) 2014～2015年度  
川崎 純夫(社会福祉法人あいち清光会障害者支援施設サンフレンド施設長・一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会理事長) 2016～2023年度  
神田 每実(愛知県立芸術大学・美術学部彫刻専攻教授) 2014～2023年度  
佐藤 文子(愛知県立芸術大学・美術学部陶磁専攻准教授) 2017～2023年度  
鈴木 敏春(美術批評/特定非営利活動法人愛知アート・コレクティブ代表理事) 2014～2023年度  
富永 奇昂(現代書道家) 2020～2023年度  
中村 史子(愛知県美術館学芸員) 2017～2019年度  
西村 正幸(名古屋芸術大学・アートクリエイターコース教授) 2014年度～2016年度  
能勢 陽子(豊田市美術館学芸員) 2019年度  
三頭谷 鷹史(美術評論家・名古屋造形大学名誉教授) 2014年度～2016年度





## 謝 辞

あいちアール・ブリュット展の開催及びあいちアール・ブリュットの取組にあたり、多大なる御協力を賜りました方々に対して、謝意を表します。また、ここにお名前を記すことができなかつた皆様にも感謝の意を表します。

中日新聞社、社会福祉法人中日新聞社会事業団、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、一般社団法人愛知県身体障害者福祉団体連合会、愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会、愛知県知的障害者育成会、一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会、一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会、特定非営利活動法人愛知県精神障害者家族会連合会、一般社団法人愛知県精神科病院協会、特定非営利活動法人愛知県自閉症協会・つぼみの会、特定非営利活動法人愛知アート・コレクティブ、認定特定非営利活動法人ポパイ、社会福祉法人あいち清光会障害者支援施設サンフレンド、愛知県立芸術大学、社会福祉法人楽笑、公益財団法人名古屋市文化振興事業団、公益財団法人愛知県文化振興事業団、一般社団法人アティックアート、株式会社須藤事務所、愛知県信用保証協会、一般社団法人愛知県測量設計業協会、岡崎信用金庫、小原建設株式会社、角文株式会社、かりや愛知中央生活協同組合、株式会社近藤組、木村建設株式会社、神野建設株式会社、関興業株式会社、太啓建設株式会社、トヨタホーム株式会社、中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社、日本空調システム株式会社、株式会社A Tグループ、ネットヨタ中部株式会社、株式会社花田工務店、碧海信用金庫、株式会社まつおか、ヤハギ道路株式会社、豊橋建設工業株式会社、豊橋商工信用組合、株式会社大增コンサルタンツ、有限会社グローバルホーム、トヨタ生活協同組合、株式会社川本第一製作所、株式会社シスムエンジニアリング、株式会社ネクステージ、株式会社ほていや、株式会社ジェイグループホールディングス、日本メディアシステム株式会社、フィカス株式会社、株式会社吉田 SKT、トーテックアメニティ株式会社、アイアール株式会社（順不同、敬称略）



[企画・発行]

愛知県障害者芸術活動参加促進事業実行委員会  
〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
(愛知県福祉局福祉部障害福祉課内)

2024年3月 発行